

授 業 目 名	作 業 治 療 学 実 習 I (中 枢 ・ 整 形)	授 業 形 態	演 習
		配 当 学 期	2 年 (後 期)
担 当 教 員 名	佐々木 健太 木村 公亮	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>作業療法治療過程に用いる介入に対する基本的理論を理解し、実践できるようになる。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>① 対象者の障害像に応じた治療を選択できる。 ② 作業療法実践の場で用いられる様々な治療理論の背景を理解できる。</p>		
授 業 回 数	授 業 内 容		
第 1 回	身体機能に対する作業療法介入の原則① (関節可動域訓練に対する基本的介入方法)		[佐々木]
第 2 回	身体機能に対する作業療法介入の原則② (筋力増強訓練に対する基本的介入方法)		[佐々木]
第 3 回	身体機能に対する作業療法介入の原則③ (協調性障害に対する基本的介入方法)		[佐々木]
第 4 回	上肢機能障害に対する介入①		[木村]
第 5 回	上肢機能障害に対する介入②		[木村]
第 6 回	上肢機能障害に対する介入演習①		[木村]
第 7 回	上肢機能障害に対する介入演習②		[木村]
第 8 回	脳卒中患者への介入演習 (軽症例)		[木村]
第 9 回	脳卒中患者への介入演習 (軽症例)		[木村]
第 10 回	脳卒中患者への介入演習 (軽症例)		[木村]
第 11 回	脳卒中患者への介入演習 (重度症例)		[木村]
第 12 回	脳卒中患者への介入演習 (重度症例)		[木村]
第 13 回	脳卒中患者への介入演習 (重度症例)		[木村]
第 14 回	高次脳機能障害介入演習①		[佐々木]
第 15 回	高次脳機能障害介入演習②		[佐々木]
評 価 方 法	筆記試験 (30%)、レポート・課題など (70%)		
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 作業療法学 ゴールド・マスター・テキスト 身体障害 作業療法学 (メディカルビュー)</p> <p>作業療法技術ガイド 第3版 (文光堂)</p> <p>〔参考図書〕 標準作業療法学 専門分野作業療法評価学 第2版 (医学書院)</p> <p>認知運動療法入門 (協同医書)</p>		
履 修 上 の 留 意 点	演習科目となるため、出席は最低限必要。		
メ ッ セ ー ジ	演習を通して学ぶ講義となりますので、今後の臨床に活かせる知識や技術を多く学べる機会なので、積極的に取り組むことが望まれます。		